



秋田県立養護学校天王みどり学園 研究だより NO.4
平成27年10月5日 発行

ippo(いっぽ)

本号では、高等部 B グループ（福祉的就労希望）の職業科「地域に出かけよう1～地域奉仕活動～（追分幼稚園ボランティア①）」の研究授業（9月28日）について、ワーキンググループの取組や協議会における話題について紹介します。

【平成27年度 研究主題】

キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成
～児童生徒がやりがいと手応えを感じる授業づくりを通して～

（1年次／2か年）

高等部で目指す姿 「社会参加を目指し、集団や地域の活動に主体的に取り組む姿」
高等部 B グループ 研究授業 **ワーキンググループ：中学部2年、中学部3年、高等部**

① 事前ミーティング【授業者より】

B グループの活動テーマについて

- ・中心となるテーマは、「感謝される体験」→昨年度から追分幼稚園でのボランティア活動を継続している。
- ・キャリア教育全体計画との関連では、「人と関わる力」「集団における役割」を重視。

ボランティア活動について

- ・2、3年生は昨年度、7回追分幼稚園を訪問した経験があることから、ボランティア活動が浸透してきている。「またやってみたい、行きたい」「外に出て、人のためになることをしたい」という意見が出ており、昨年度の経験が生きている。

授業づくりについて

- ・年間計画では6回の実施を予定している。繰り返しのメリットを生かし、回を重ねる毎に、自分たちの力で活動を進めていけるようにしてほしい。

② 研究授業



今年度1回目のボランティア活動。2・3年生は、昨年度の経験から、見通しをもち、意欲的に望んでいる。幼稚園児が安全に遊べるよう、落ち葉や枝拾いをを行った。幼稚園の先生から、「助かった。ありがとうございます。」と感謝された。（研究授業の前週の様子）



本時では、ボランティア活動を振り返り、「頑張った」「幼稚園の先生に『ありがとう』と言われてうれしかった」「またやってみたい」等、一人一人が感じたことをシートにまとめ、2回目のボランティア活動への意欲へ結び付けた。

③ 研究協議

【本時の授業について】

ボランティア活動について

- ・「がんばった」「楽しかった」だけで終わるのではなく、**自分たちのがんばりによってどんなよいことがあったのか**につなげることが大事。
- ・毎時間繰り返し、「誰のために」や「人のために働いてよかった」につなげ、生徒に定着できるようにしたい。

視聴覚教材について

- ・VTRは活動を思い出すためには有効な教材。
- ・本単元のねらいである「感謝された」「役に立った」ことをもっと実感できるよう、見せるポイントをより絞る、止める、拡大する等、見せ方の工夫が大事。

過去の経験を積み重ねるために

- ・昨年度ボランティア活動を7回実施した**経験を次年度に生かしたり後輩に受け継いだりする**ために、共有ノート（この時期に、こんな活動内容で、こんなことに気を付けて活動した等）を作成し、活用できるようにしたらどうか。

【職業科について】

現在の課題について

- ・昨年度から職業科を設置し、2年目となる。多様化した進路希望に応じた進路指導の充実を目指し取り組んでいるが、現在、現場実習は作業学習として、実習の事前事後学習は生活単元学習として取り扱っている。学習指導要領では、職業科の内容として、実習に関することが表記されている。指導要素や指導内容を検討・整理していく必要がある。

社会参加を目指して

- ・行動の変化だけを求めていくのではなく、**内面の変化を求めることが大事**。それが主体的な行動へとつながる。
- ・内面の変化が伴わないスキルは活用できない。